





場面別の交通事故を防ぐポイント



道路を歩くとき

歩行者の交通事故が多い時間帯は、自動車を運転する人がライトを付けるかどうかという日没頃、歩行者を発見するのが遅れてしまうケースが多いといわれています。夕暮れ時から夜間に外出するときは、明るい服装を身に付けることや反射材を身に付け、自動車などから発見されやすい状況を作ることが交通事故防止のポイントです。

また、交差点などでの飛び出しや横断歩道以外の場所を横断するという歩行者の交通ルール違反も原因の一つとなっています。道路を渡る際は、必ず横断歩道や歩道橋を渡り、無理な横断はやめましょう。



自転車を運転するとき

誰でも気軽に乗れる自転車ですが、道路交通法上では「軽車両」とされています。車両を運転している自覚を持つことが大切です。並走や二人乗りをしないなどの交通ルールを守るのももちろん、傘さし運転やスマートフォンを操作しながら、イヤホンを付けながらの運転も危険の察知が遅れてしまうため、絶対にやめましょう。

また、歩行者と同様に暗くなると自動車などから見えにくくなります。前後のライトを点灯するだけでなく、黒い服装は避ける、反射材を利用するなど周囲から気付いてもらえるような工夫をすることが大切です。



自動車を運転するとき

自動車を安全に運転するためには、他の車両や歩行者など周囲にも気を配ることが必要です。普段は安全運転を心掛けていても、慌てていたり疲れていたりすると注意力が散漫になり、交通事故を起こしかねません。どんなときでも、適度な緊張感と心のゆとりを持って運転するようにしましょう。

また、雨天時や夕暮れ時など視界が悪い環境で運転をするときは、いつも以上に慎重な運転を心掛けることが大切です。薄暗くなってきたと感じたら早めにライトを点灯する、スピードの出しすぎに注意するなどの対策を取りましょう。

地域の役に
立てる活動

山武交通安全協会芝山支部

交通指導員募集

山武交通安全協会芝山支部では、交通指導員を募集しています。やりがいのある活動がたくさんありますので、興味のある方はご連絡ください。

活動内容

- ・交通安全に係る街頭指導や啓発活動
- ・交通安全教育など

応募資格

芝山町に居住している方で、交通安全に興味のある方（年齢不問）

その他

- ・制服付与
- ・交通費および活動費支給

問合せ 総務課自治振興係
☎77-3903

